



日本シイエムケイ株式会社
(証券コード：6958)

2013年3月期 決算説明資料 2014年3月期 業績予想説明資料

2013年 5月10日
日本シイエムケイ株式会社

1



2013年3月期 決算概要

1. 総括	・・・	3
2. 売上高の状況	・・・	4
3. 営業利益の状況	・・・	6
4. 設備投資の状況	・・・	7

2014年3月期 業績予想

5. 総括	・・・	9
6. 売上高の状況	・・・	10
7. 営業利益の状況	・・・	12
8. 設備投資の状況	・・・	13

2

1. 総括 売上高・利益実績



米国経済は緩やかな回復の一方、欧州経済低迷の長期化、新興国経済成長の鈍化など、経済情勢の不透明感は継続。経営環境は全般的に厳しい状況。

■売上高

自動車関連製品ならびにデジタルカメラ向け製品は、受注回復により増収。
通信関連機器、アミューズメント、デジタル家電は受注低迷。

■利益

・国内事業構造の見直し、生産性向上、原価低減等と徹底的コスト削減により、通期で黒字確保

(単位:百万円)

	12/3月期 (実績)		13/3月期 (実績)		前年比 (通期)	
	上期	通期	上期	通期		増減率
売上高	38,032	80,563	38,675	72,677	-7,886	-9.8%
営業利益	-471	757	761	434	-323	-42.7%
経常利益	-1,382	346	280	567	+221	+63.5%
当期利益	-1,282	-2,873	118	712	+3,585	—

*数字は切捨てにて表示。
%は小数第二位を四捨五入となっております。

3

2. 売上高の状況①



■用途別実績

(単位:億円)

	12/3月期 (実績)		13/3月期 (実績)		前年比 (通期)		主な要因
	上期	通期	上期	通期		増減率	
カーエレ・車載	187	423	233	447	+24	+5.7%	主要自動車メーカーからの受注増加
通信	38	67	22	39	-28	-41.8%	国内携帯メーカーの需要低迷
AV・デジタル家電※1	17	32	11	20	-12	-37.5%	総合家電メーカーの需要低迷
デジタルカメラ	24	49	29	56	+7	+14.3%	
アミューズメント	19	43	15	27	-16	-37.2%	ゲーム機向け減少
その他※2	93	191	73	136	-55	-28.8%	
合計	380	805	386	726	-79	-9.8%	

※1 ビジュアル+オーディオ ※2 コンピュータ+家電+OA+その他

*数字は切捨てにて表示。
%は小数第二位を四捨五入となっております。

4

2. 売上高の状況②



■製品別実績

(単位:億円)

	12/3月期 (実績)		13/3月期 (実績)		前年比 (通期)		主な要因
	上期	通期	上期	通期		増減率	
ビルドアップ・ パッケージ基板	125	264	125	232	-32	-12.1%	通信機器・アミューズメント向け減少
多層プリント 配線板	110	241	126	244	+3	+1.2%	自動車関連製品は増収 AV、デジタル家電等減少
両面プリント 配線板	82	168	84	157	-11	-6.5%	
その他	62	131	50	92	-39	-29.8%	
合計	380	805	386	726	-79	-9.8%	

*数字は切捨てにて表示。
%は小数第二位を四捨五入となっております。

5

3. 営業利益の状況



■地域別実績

(単位:億円)

	12/3月期 (実績)		13/3月期 (実績)		前年比	
	売上	利益	売上	利益	売上	利益
日本	584	26	510	9	-74	-17
中国	218	-6	201	3	-17	+9
東南アジア	103	-6	112	-3	+9	+3
欧米	29	0	31	1	+2	+1
計	934	14	855	10	-79	-4
消去又は全社	-129	-6	-128	-6	+1	-
連結	805	7	726	4	-79	-3

※売上、利益はセグメント間取引を含めた金額

*数字は切捨てにて表示。
%は小数第二位を四捨五入となっております。

6

4. 設備投資の状況



実行ベース

(単位: 億円)

	12/3月期 (実績)	13/3月期 (実績)	前年比	主な投資内容
国内	5	19	+14	生産効率改善、品質対策
海外	13	15	+2	生産性改善(大板化対応)、品質対策
連結	18	35	+17	

	12/3月期 (実績)	13/3月期 (実績)	前年比	主な投資内容
ビルドアップ・ パッケージ事業	13	10	-3	無錫工場の生産性改善(大板化対応)
両面・多層貫通 事業	4	22	+18	タイ工場の生産体制強化および品質対策
その他	1	2	+1	
投資合計	18	35	+17	

減価償却費	52	40	-12	
-------	----	----	-----	--

*数字は切捨てにて表示。
%は小数第二位を四捨五入となっております。

7



2014年3月期 業績予想

5. 総括	...	9
6. 売上高の状況	...	10
7. 営業利益の状況	...	12
8. 設備投資の状況	...	13

8

5. 総括 14/3月期売上高・利益見込み



円高修正局面でも顧客における生産体制のグローバル化進展と、低コスト志向の流れは定着し引き続き厳しい経営環境が継続。

■売上高

- ・自動車関連製品向け拡販により増収を見込む

■利益

- ・歩留改善、生産性向上による原価低減等と徹底的コスト削減により増収増益を目指す

(単位:億円)

	13/3月期 (実績)	14/3月期 (見込)	前年比	増減率
売上高	726	760	+33	+4.6%
営業利益	4	22	+17	+406.9%
経常利益	5	15	+9	+164.5%
当期利益	7	10	+2	+40.3%

*数字は切捨てにて表示。
%は小数第二位を四捨五入となっております。

本資料における将来情報は、2013年5月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

9

6. 売上高の状況①



■用途別見通し

(単位:億円)

	13/3月期 (実績)	14/3月期 (見込)	前年比	増減率	主な要因
カーエレ・車載	447	478	+31	+6.9%	主要自動車メーカーの増産
通信	39	20	-19	-48.7%	国内携帯メーカーの需要低迷
AV・デジタル家電※1	20	24	+4	+20.0%	主要メーカーの需要横這い
デジタルカメラ	56	61	+5	+8.9%	
アミューズメント	27	25	-2	-7.4%	ゲーム関係需要横這い
その他※2	136	152	+16	+11.8%	試作・量産品以外の製品拡販
合計	726	760	+34	+4.6%	

※1 ビジュアル+オーディオ ※2 コンピュータ+家電+OA+その他

*数字は切捨てにて表示。
%は小数第二位を四捨五入となっております。

本資料における将来情報は、2013年5月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

10

6. 売上高の状況②



■製品別見通し

(単位:億円)

	13/3月期 (実績)	14/3月期 (見込)	前年比		主な要因
				増減率	
ビルドアップ・ パッケージ基板	232	218	-14	-6.0%	通信機器向け減少
両面・多層貫通 プリント配線板	401	443	+42	+10.5%	自動車分野の成長
その他	92	99	+7	+7.6%	
合 計	726	760	+34	+4.6%	

*数字は切捨てにて表示。
%は小数第二位を四捨五入となっております。

本資料における将来情報は、2013年5月時点での見通しであり、
その実現を保証するものではありません。

11

7. 営業利益の状況



■地域別見通し

(単位:億円)

	13/3月期 (実績)		14/3月期 (見込)		前年比	
	売上	利益	売上	利益	売上	利益
日 本	510	9	515	16	+5	+7
中 国	201	3	213	4	+12	+1
東南アジア	112	-3	128	1	+16	+4
欧 米	31	1	35	1	+4	0
計	855	10	892	24	+37	+14
消去又は全社	-128	-6	-132	-2	-4	+4
連 結	726	4	760	22	+34	+18

※売上、利益はセグメント間取引を含めた金額

*数字は切捨てにて表示。
%は小数第二位を四捨五入となっております。

本資料における将来情報は、2013年5月時点での見通しであり、
その実現を保証するものではありません。

12

8. 設備投資の状況



実行ベース

(単位: 億円)

	13/3月期 (実績)	14/3月期 (見込)	前年比	主な投資内容
国内	19	28	+9	細線化・品質向上・老朽更新
海外	15	15	0	生産性向上(大板化対応推進)・品質向上
連結	35	43	+8	
減価償却費	40	41	+1	

*数字は切捨てにて表示。
%は小数第二位を四捨五入となっております。

本資料における将来情報は、2013年5月時点での見通しであり、
その実現を保証するものではありません。

13



END

14